

委員会報告(第1常任委員会)

平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 地方特例交付金の子ども・子育て支援臨時交付金については、幼児教育、保育の無償化による措置であるが、一時的なものか。

答弁 現在の情報では、6か月の特例交付金と聞いている。

質疑 繰入金の財政調整基金繰入金について、繰入額が増加している要因は。

答弁 病院事業への繰出金の増加が主な要因である。

質疑 医師確保奨学基金負担金返還金の返還理由について。

答弁 総合病院就職予定者に対する奨学金だが、他の医療機関に就職されたため返還していただくもの。

質疑 総務費の地域情報化推進事業補助金について。

答弁 市内のデジタル・ディバイドを解消するため曾木地区に光通信回線網を引く補助金である

質疑 国際交流事業について、どのような事業を予定しているか。

答弁 ファエンツァ市の陶器や写真などを展示する交流事業を予定している。



ファエンツァの工房



国際陶磁器博物館

質疑 東京圏からの移住支援事業補助金の事業概要について。

答弁 東京23区在住もしくは在勤者が就労のため移住した場合、100万円以内の補助をするもの。

質疑 民生費の地域密着型サービス整備助成事業費補助金の施設整備計画について。

答弁 第7期介護保険事業計画において、地域密着型介護老人福祉施設を整備することとしており、昨年9月に公募により、事業者を美濃陶生苑に決定し、平成32年度開設予定である。

質疑 保育園、幼稚園、こども園の3歳以上児のクラスの中で、担任を受け持つ日々雇用職員は何名予定しているのか。

答弁 保育士が不足している状況は続いており、5、6名を予定している。

討論 財産区繰入金のうち、下水道繰入金の負担割合に疑問があり、この予算に反対する。

討論 ごみ処理手数料の有料化により、低所得者に大きな負担となっているため、負担軽減の必要がある。

討論 プレミアム付商品券事業は、消費税増税を前提とした事業であり認められないため、この予算に反対する。



平成31年度土岐市国民健康保険特別会計予算

質疑 特定健康診査事業について、受診率向上のための方策は。

答弁 30年度はAIを利用した受診勧奨により効果が上がった。31年度は、医師会と協力した情報提供事業や、国保連のコールセンターを利用した受診勧奨を実施し、更なる受診率向上に努めたい。

質疑 保険料は前年比どの程度を見込んでいるか。

答弁 対前年比、5、6%増を見込んでいる。

討論 基金などを活用し、保険料を抑制すべきであり、市民の負担が大きくなるこの予算に反対する。



平成31年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算

質疑 すこやか健診、さわやか口腔健診の受診率をどのように考えているのか。

答弁 すこやか健診は20%、さわやか口腔健診は3%を目標として取り組んでいきたい。

平成31年度土岐市病院事業会計予算

質疑 医師数は、26名で予算計上し、現状は23名であるが、1日平均外来患者数が470名の受け入れは可能か。

答弁 非常勤医師の協力を得ることで470名の受け入れは可能である。

質疑 収入不足を補うため、一般会計から16億円繰入をして、市民の医療体制を守ることができるのか。

答弁 医師確保は、楽観できるものではないが、地域の2次救急を守っていけるよう努めたい。

質疑 高額な機器等の更新を予定しているが、経営状態が厳しい中、更新時期を考えてはどうか。

答弁 有用なものであり、耐用年数を大きく経過しており、壊れると診療に支障をきたすため、補助金を有効活用しながら、更新計画を進めていきたい。



平成30年度土岐市一般会計補正予算 (第6号) 所管部分

討論 プレミアム付商品券事業は、消費税増税を前提とした事業であり、認められないため、この補正予算に反対する。



平成30年度土岐市病院事業会計補正予算 (第1号)

質疑 5年間で約22億円の指定管理料は当初、初期投資で大きな額を使うと思うが、どのような配分か。

答弁 指定管理料は、政策的医療介護交付金と経営基盤強化交付金の2つの交付金で構成している。そのうち、経営基盤強化交付金は、指定管理者の経営基盤を強化するためのもので、傾斜的に配分することを想定している。



平成30年度土岐市病院事業会計補正予算（第1号）

質疑 指定管理料の内訳について。

答弁 救急医療、小児医療、リハビリテーション医療、災害時医療、地域包括ケアの推進の5つの地域医療や介護を担っていただく対価である。

討論 国の医療費削減というプランに乗り、進められる指定管理に対する予算には反対する。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 今回の改正により、2割軽減、5割軽減の影響世帯は何件か。

答弁 2割軽減、5割軽減それぞれ20世帯弱が軽減の対象になる見込みである。

土岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

質疑 市内に、条例に規定される施設は何件あるのか。

答弁 地域型保育として4園ある。



土岐市病院事業実施施設の指定管理者の指定について

質疑 救急医療に関し、受け入れ体制を協定書に明記しないのか。

答弁 1年後の話であり明確になっていない。今後の協議事項である。

質疑 継続雇用される職員に対し給料減額分の補てんはないか。

答弁 職員組合等と何度も話し合いの場を持ち、現在検討中である。

質疑 周産期医療の確保について、どのような考えか。

答弁 現状の医療機能の維持を基本としており、周産期医療は、今後の検討事項である。

質疑 現在の医師数は23名であるが指定管理になることで、常勤医師は何名となるのか。

答弁 厚生連は5年で5名医師を増やすよう計画している。市としても引き続き医師確保に努力していきたい。

討論 拙速に決めないように、との請願も出ている。市民説明会が実施されていない執行部の姿勢にも違和感がありこの議案に反対する。

土岐市病院事業の行う施設の管理を指定管理者に行わせる議案の慎重審議等を求める請願について

意見 指定管理は、総合病院を立て直すラストチャンスである。市民の命、健康を守るため、スピード感を持って指定管理に向けて取り組む必要があり、この請願を不採択としたい。

意見 市民の命、健康を守るため、国に対して働きかけをするのは当然である。市民に対して説明不足の中、指定管理を進めていくのは拙速であり、この請願を採択したい。



委員会報告(第2常任委員会)

平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 教育費県補助金の日本スポーツマスターズ2019開催助成金について。

答弁 来年度岐阜県で開催されるもので、土岐市は軟式テニスの会場となり、開催に当たり市が負担する費用の1/2を県から補助を受けるものである。

質疑 浄化槽設置事業補助金について、何基分想定しているのか。

答弁 16基分である。



環境センター

質疑 環境センター長寿命化事業について、今後も2億円程度の支出が継続するのか。

答弁 躯体など大規模修繕は終了しているが、炉や機器などの定期的な修繕等、維持管理費が今後も必要である。

質疑 商工振興費のプレミアム付商品券発行事業について対象者への通知方法は。

答弁 対象である子育て世代へは、抽出後引換券を送付する。住民税非課税世帯へは、住民税確定後に申請書を送付するが、被扶養者、生活保護費受給者など対象から外れる方もあり、審査のうえ引換券を送付する。

質疑 観光PR事業について、事業内容は。

答弁 観光協会での新商品開発とイベント開催等の活動に対する補助、県の協議会での2020年に放送される大河ドラマ「麒麟がくる」のプロモーション用パンフレット制作等である。

質疑 商工振興費の美濃焼のうつわを楽しむ暮らし事業の内容は。

答弁 まちづくりプロジェクト「土岐くらしのラボ」による、本物の美濃焼を土岐市から贈ろうという企画で、4月1日以降に生まれたお子さんを対象に美濃焼のすり鉢、離乳食レシピ及び陶育の絵本を配布する事業である。

質疑 橋梁整備事業について、耐震補強の進捗状況と実施予定数は。

答弁 補修、耐震補強の対象が79橋あり、34%ほど進んでいる。来年度は6橋を行う予定である。

質疑 教育指導費の35人学級について実施内容は。

答弁 国、県の基準とは別に、市からサポートティーチャーを派遣し中学校2年生、3年生のクラス編成を35人以下とするもので、来年度は土岐津中学校、西陵中学校が対象となっている。

質疑 ふるさと魅力体験事業について、対象学年と内容は。

答弁 ふるさと魅力体験事業は、来年度と再来年度の2年間で実施するもので、対象学年は学校により異なり、歴史的建造物や博物館等の県有施設を見学する事業である。



平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 文化振興費について、乙塚古墳附段尻巻古墳整備工事について。

答弁 段尻巻古墳の割れた天井石の補修、墳丘の漏水防止工事及び周辺整備等を3年間で計画しており、来年度は工事監理業務委託及び乙塚古墳整備、周辺広場整備を予定している。

質疑 青少年育成費について、放課後教室の指導員の体制は。

答弁 市内に8教室あり、少ないところで2名、多いところで6名配置し、現在25名体制であるが、来年度は4名増員し、29名体制を予定している。

討論 電源立地地域対策交付金を受けることにより、瑞浪超深地層研究所の方針に反対しにくくなることから、この予算には反対する。



乙塚古墳

平成31年度土岐市駐車場事業特別会計予算

質疑 駅前駐車場等整備工事について、駅前広場自動車駐車場及び駅前自動車駐車場の駐車台数は。

答弁 新設の駅前広場自動車駐車場は12台。駅前自動車駐車場は16台の予定である。

平成31年度土岐市水道事業会計予算

質疑 配水施設改良費について、耐震化の進捗状況は。

答弁 最新の耐震化率は32.5%で、年間約1%を目標に、土岐市水道事業経営戦略に基づき計画的に工事を進めている。

平成31年度土岐市下水道事業会計予算

質疑 スtockマネジメント計画について。

答弁 下水道施設を計画的かつ効率的に管理するもので、来年度は管路、マンホールポンプ、処理場について実施するものである。

平成30年度土岐市一般会計補正予算（第6号）
所管部分

質疑 学校建設費について、空調設備は全小中学校に設置するのか。

答弁 普通教室を優先に全小中学校に設備する予定である。

土岐市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 駅西及び駅前駐車場の利用料金は変更されるのか。

答弁 両駐車場の利用料金の変更はない。

土岐市水道事業経営審議会設置条例の一部を改正する条例について

質疑 水道事業と下水道事業とを1つにして問題はないのか。

答弁 委員構成が同じであり、審議は事業ごとに行うので特段問題はない。

土岐市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 専門職大学とはどういう大学のことか。

答弁 学校教育法の改正により4月から創設される新しい制度で、職場の即戦力となる人材育成を目指す実践教育機関である。